

# 東京大学21世紀COE(化学・材料系)

「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」

「化学を基盤とするヒューマンマテリアル創成」

第2回合同シンポジウム

—次世代を担う科学の息吹き—

COE  
21

「動的分子に立脚したフロンティア基礎化学」

拠点:大学院理学系研究科化学専攻

拠点リーダー:岩澤康裕

「化学を基盤とするヒューマンマテリアル創成」

拠点:大学院工学系研究科化学生命工学専攻・  
応用化学専攻・化学システム工学専攻・  
マテリアル工学専攻

拠点リーダー:平尾公彦

会期:平成17年 6月3日(金)・4日(土)

場所:東京大学弥生講堂 参加費:無料

## Session 1: 化学

岩田 耕一

「時間分解分光法で観測する凝縮相での化学反応とその機構」

河野 正規

「X線回折による自己組織化錯体内での光化学反応の直接観察」

唯 美津木

「表面を媒体とする選択的反応場空間の設計と触媒機能制御」

大越 慎一

「新規な強磁性現象を示す磁性材料の考案と化学的合成」

山根 基

「余分な添加物を用いない有機ケイ素化合物の触媒反応」

津田 明彦

「ナノ空間のキラル科学」

鍵 裕之

「地球深部現象と高圧下での水素結合の化学」

石田 康弘

「面不斉イミダゾリウム塩を利用したキラルイオン性液体の開発」

## Session 2: バイオ/生物化学

新海 政重

「細胞転写技術とOrigami手法を用いた組織構造体の構築」

福沢 世傑

「生体膜モデル、バイセルの物性と応用」

金野 智浩

「再生医療におけるバイオマテリアル創製」

西野 智昭

「分子探針と分子間トンネル効果顕微鏡」

加藤 祐樹

「光合成反応中心における電子授受エネルギー準位相関の解明」

## Session 3: マテリアル

磯部 寛之

「両親媒性炭素クラスターの科学」

喜多 浩之

「相変態を用いたナノメータ絶縁膜の高誘電率化設計」

米澤 徹

「巧みな表面処理を利用したナノ粒子とシリコン基板の材料への展開」

神原 淳

「メゾプラズマCVDによる高速エピタキシー」

吉尾 正史

「イオン性液体の組織化による異方的イオン伝導材料の構築」

野村 幹弘

「対向拡散CVD法による水素分離シリカ膜の開発」

一杉 太郎

「二酸化チタンが秘める新しい光・磁気・電子機能」

## Session 4: 理論

中嶋 隆人

「相対論的分子理論の開発」

中村 恒夫

「金属表面吸着分子の光化学反応:非平衡グリーン関数法に基づいた  
反応確率の定式化と第一原理計算への試み」

松永 克志

「セラミックス界面の理論的研究」

牛山 浩

「水素移動の動力学」